

# 平成31年度の 予算編成方針は



渡辺 俊彦



町長

### 時代に即す 総合的福祉施策を推進

**質問** 平成31年度予算は「選択と集中」「スクラップ&ビルド」の考えのもと編成したとあるが、選択した事業は何か。

**答弁** 町長 具体的には、時代に即した総合的な福祉施策の推進により、地域福祉計画推進事業を進め、誰もが住み慣れた地域で、ともに支え合い、ともに助け合う、地域共生社会の実現に向けて取り組む。

また、「未来への投資」では文化センター周辺まちづくり事業、高崎玉村スマートIC周辺まちづくり事業や新橋建設促進化事業、BRT（バス高速輸送システム）推進事業などがある。

「子育て支援」では民間保育所の誘致、学校施設を活用した放課後児童クラブの開設、妊婦歯科健診の実施などに取り組む。「教育の充実」では教員の事務作業を補助するスクール・サポート・スタッフの配置などを行う。

**質問** 「スクラップ&ビルド」した事業は何か。

**答弁** 町長 南幼稚園と西児童館の放課後児童クラブは統合や移行により廃止した。また、勤労者友の会への補助金も廃止した。

「ビルド」としては、ゾーン30導入事業やおでかけポイント制度推進事業、空家除却補助事業等、町の魅力をさらに高めていく事業を念頭に新規事業を創出した。



ゾーン30が導入される文化センター周辺

### 児童虐待を未然に防ぐ 対策は

**質問** 千葉県野田市で小学4年生の女児が、父親の虐待により死亡する痛ましい事件が発生した。本町の児童虐待予防対策は何か。

**答弁** 町長 「玉村町要保護児童対策地域協議会」において、見守りを行う全てのケースの情報共有及び支援の検討を行い、必要に応じ個別のケースについて、具体的な支援の検討会議を行っている。

**答弁** 教育長 学校では月1回のアンケートや心理状態を客観的に把握するため年2回のQU検査（心理検査）を行っている。

本町から虐待による被害者を絶対に出さないため、教育委員会と学校、園、家庭、地域等が連携・協力を深め、虐待防止に全力で取り組む。

# 総合的な土地利用の 推進を



新井 賢次



町長

### 市街化区域の拡大を 進めていく

**質問** 町総合計画には、「東毛広域幹線道路の整備によって沿道地域には開発需要が高まる。市街化区域の拡大、工業用地の確保などを進める」とある。施策の主要事業に掲げた都市計画マスタープランの進捗状況はどうか。

**答弁** 町長 平成26年度に文化センター周辺の16ヘクタールを市街化区域に編入し、土地区画整理事業として住宅団地造成を進めており、平成31年度にはすべての区画が引き渡しできる予定である。

平成27年度には東部工業団地の拡張として、東側6ヘクタールと西側6・3ヘクタールを市街化区域に編入して拡張事業を行っている。

また、高崎玉村スマートICの北側を新たな産業団地として造成する計画で、平成32年度に群馬県が予定している区域区分の定期見直しに向けて、市街化区域編入に必要な手続を進めていく。

### ラヂオななみへの放送 業務委託事業の検証を

**質問** 広報たまむらを補完し、地域に密着した情報をリアルタイムで知らせ、情報発信機能を拡充することを目的とする業務委託であるが、広報たまむらの発行費用が約1000万円であるのに対して、約半分の500万円かけている。聞いている人がどれだけいるのか。可聴範囲、リスナーの数の把握等を含め費用対効果の検証をすべきではないか。

**答弁** 町長 アンケート結果によると、ななみを聞いたことがある方は33・2%で、そのうち「ほぼ毎日」と「週に何度か」聞く方が1%ずつおり、2・2%が「月に何度か」、28・5%が「年に何度か」聞くとの回答であった。

この結果をどう判断するか難しいが、ほかの地域のコミュニ



J A 玉村支店の隣りで放送中

こんな質問もしています

- ・観光振興に向けた環境づくりについて
- ・平成31年度施政方針について

ティー放送や自治体の委託状況等を調査していく考えである。なお、新年度の委託料については今年度より減額して予算計上している。また本年2月には総務省の認可をいただき、出力を上げて可聴範囲の拡大を図る計画である。